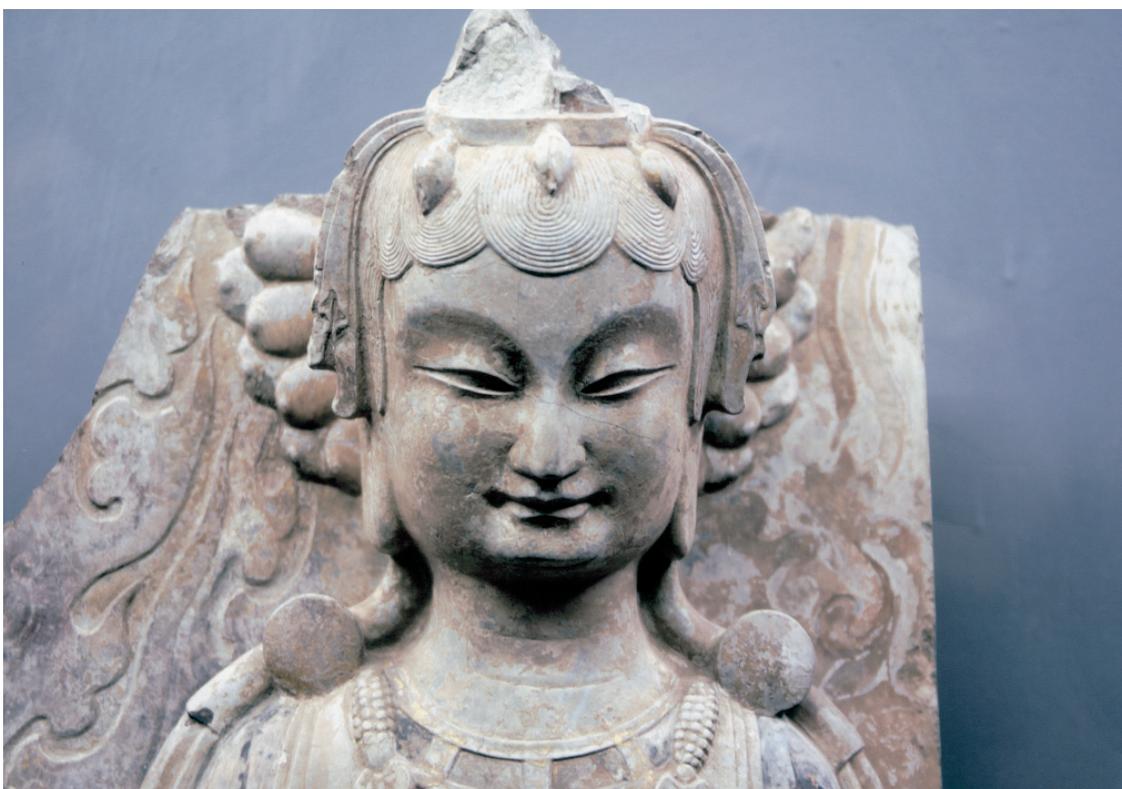


福井県医師会

だより

第564号 平成20年(2008)6月



表紙写真説明：石彫脇待菩薩像 北魏 (386-534)

中央アジア・シルクロードを經由して中国に佛教が伝わったのは2世紀頃とされるが、3～4世紀に山東省に伝来した佛教美術は独特の発展を遂げ、中国の歴史上でも最高といわれる佛教美術が開花した。本像は、1996年に山東省青州市で発掘され、20世紀における佛教美術史上最大の発見とされた、龍興寺遺跡出土彩色貼金佛像群の中でも最高傑作とされる脇待菩薩像で、切れ長の目と口元に“アルカイクスマイル”を湛えた柔らかな表情はえも言われぬ魅力を醸し出している。

福井市 吉村 信

醫 縫 録

福井県の医療における福井大学 医学部の来し方行く先は



福井大学医学部長 眞弓 光文

福井大学医学部の前身である福井医科大学は、福井県の医療の更なる向上をはかるために医科大学の設置をという県民・関係者の思いが結実して設立され、早いもので開学から28年が過ぎました。11年前には看護学科も開設され、これまでに2000名を超える医師と500名にのぼる看護師を世に送り出してきました。附属病院も開設25周年を迎え、7:1看護を含め、特定機能病院としての高度な医療を実施し、県内での評価も定着して参りました。3年前には、卒後臨床研修必修化のあおりを受けて、附属病院での研修を希望する医師数が従来の1/3にまで減少するという、大変懸念すべき事態に陥りましたが、研修希望者数は一昨年、昨年、そして今年と順調に増えて従来のレベルにまで回復しており、福井県で働く医師をこれまで通り供給できると喜んでおります。これもひとえに福井県医師会の諸先生より賜ったご支援のおかげと、深謝致します。

この間、福井医科大学を取り巻く環境は、2003年に(旧)福井大学と統合して(新)福井大学医学部となり、また2004年には大学法人化されるなど、すさまじく変化しました。この変化の潮流の源は、ひとことでいえば、国の教育予算削減の流れです。大学には毎年1%の人員費削減が課せられ、実質的な教員の定員削減が行われています。さらに平成22年度からは、現在実施中の大学法人評価に基づいて、国が大学に支給する運営費交付金の額が決まります。評価が低いと、国からの予算が大幅に減少する可能性が考えられます。

この予算配分方針は、教育予算削減の流れのなかで、旧帝大のような大学に予算を集中した方が効率的であるという、主に経済界から出てきた意見の影響が強いと言われてはいますが、大学教育や研究、医療に対し、会社経営におけるような効率という観点を強調して良いかどうかは、大いに疑問です。大学法

人評価の対象項目のひとつは研究業績で、福井大学医学部のような歴史も浅く規模も小さい地方の大学の研究業績は、東大・京大のような歴史もあり規模も大きい旧帝大と較べると、全体としては残念ながら劣ると言わざるを得ません。しかし、地方の大学はそれぞれ独自の素晴らしい研究を実施しており、個々には旧帝大のそれを凌駕するものも数多くあります。京都大学の山中教授のiPS細胞の素晴らしい研究成果により、iPS細胞研究に多額の研究費が措置されました。これは我々研究者全員にとっても喜ぶべきことのように思われますが、この増額分の多くは他分野の研究費を削ってiPS細胞研究に廻したものですから、多くの分野でただでさえ少ない研究予算がさらに減額され、医学研究全体から見れば本当に喜んでいいことかどうかは大変疑問です。国は同じことを医学教育に対しても実施しようとしています。医学部が優れた医療人を輩出するためには、優れた教育、研究、診療が活発に行われていることが必要であり、そのためには相応の予算が必要です。

このように、福井大学医学部を取り巻く環境は今後益々厳しくなると懸念されますが、教職員一同、知恵を絞り、力を合わせて、今後も優れた教育、研究、診療を実施し、自らの使命を果たして行きたいと考えています。ちょうど附属病院の25周年にあたりますので、多くの皆様のご支援を得て、各種医療用シミュレーターを設置したスキルラボや研修室等を備えた研修センターを建設し、教育環境の一層の改善を図ります。福井県医師会の諸先生におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。